

地域医療調査研究特別委員会中間報告説明会（朝日地域）議事録

当委員会では、これまでの調査研究内容を取りまとめた中間報告を各地域の区長会において説明し、当日、各区長会からの意見聴取を行ないました。

この説明会において聴取した意見を踏まえ、当委員会としての最終的な調査研究報告書の取りまとめを行い、当市における地域医療の抱える課題や問題等の克服に向けての施策を行政に提言することとしています。

以下に、各地域で開催した説明会の議事録（簡易）を記載し、意見聴取の状況についての経過を説明します。

朝日地域 [平成24年2月9日(木)] J A にいがた岩船朝日支店 2階研修室

出席議員：板垣一徳委員長、長谷川孝副委員長、板垣千代子委員、鈴木いせ子委員、

川村敏晴委員、小杉和也委員、川崎健二委員、平山 耕委員、相馬エイ委員、

小林重平委員、小池 晃委員（11名/12名）

副委員長 皆さん、おはようございます。朝日地域嘱託員協議会の皆さまには、本日大変お忙しいところ私どものためにお集まりいただきまして、誠にありがとうございました。特に会長様にはこの機会を作っていただきまして感謝申し上げます。私はこの特別委員会の副委員長をおおせつかっています長谷川孝といいます。司会をさせていただきますのでよろしくお願ひします。これから委員長のあいさつの後、私ども委員のそれぞれの自己紹介、そして地域医療調査研究特別委員会の中間報告の説明を行っていきたいというふうに思いますのでよろしくお願ひします。では委員長からお願ひします。

委員長 皆さんおはようございます。私は地域医療調査研究特別委員会の委員長をおおせつかっております板垣一徳でございます。今日は本当に区長会の皆さまには道足の悪い中、そしてきわめてお忙しい中こうして私どもといろいろと懇談をすることにご協力をいただきまして心から厚くお礼申し上げます。私どもも約3年前にこの委員会を立ち上げまして、この圏域の救急医療、医療についてこのままで良いのかどうかということで、議員発議で特別委員会を発足させたところです。その長い年月をかけまして、いろいろと私の方から今説明を申し上げますが、調査研究をいたしまして、やっぱり市民の皆さま方の声を聞いて、最終的なまとめを取りまとめたいということで今日の朝日地域が最終となりますが、旧市町村単位でまわらせていただきましたので、今日は一つご忌たんのないご意見、ご要望など意見を出していただければ私どもとしては大変ありがたいということでございますので、よろしくお願ひ申し上げます。ひと言ご挨拶を申し上げます。本日は大変ありがとうございました。

副委員長 それでは、座ったまま進行させていただきますのでよろしくお願ひいたします。次に委員の小池さんの方から自己紹介をお願ひします。

小池 晃 皆さんおはようございます。地域医療調査研究特別委員会委員の小池

- 委員 晃でございます。地元笹平の出身です。今日はまた寒波の襲来で連日雪と格闘され大変お忙しい中、また、お疲れのところ地域医療の関係でお集まりいただきまして大変ありがとうございます。委員長からもお話があったとおり、皆さまから忌たんのないご意見を拝聴しながら今後の活動に生かしていきたいと考えていますのでよろしくお願い致します。今日はどうもありがとうございました。
- 川崎健二委員 おはようございます。神林北新保の川崎健二でございます。こちらに来てまあ驚いたことは、雪が多いということで我々浜のほうと比べますとかなり、2倍以上あると思いますが、除雪大変だと思いますが足元の悪い中お集まりいただきましてありがとうございます。皆さま方から忌たんのないご意見を拝聴したいと思いますので、よろしくお願い致します。
- 平山 耕委員 ごめんください。同じく神林出身の七湊の平山 耕と申します。皆さまから、今日良い意見をいただきそれを持ち帰りまして、それを自分たちで研究しながら今後の活動に生かしていきたいと思っております。よろしくお願い致します。
- 小林重平委員 おはようございます。旧荒川町海老江の小林重平でございます。この地域医療調査研究特別委員会ということで、この委員会に私が一番ぴったりしているんじゃないかと。というのは、私は病気の総合デパートと言われていまして、薬を今日の朝も20数粒飲んで参りました。今日は皆さんの方から私のようにならないように良い意見を拝聴して、残された人生の中で健康な生活を送りたいなあと思っています。よろしくお願い致します。
- 小杉和也委員 皆さんおはようございます。村上地区長井町の小杉和也と申します。どうぞよろしくお願い致します。各地区を回っておりますが、各地区によっていろんなご意見があります。今日は忌たんのないご意見をいただければと思いますので、今日はどうぞよろしくお願い致します。
- 相馬エイ委員 お忙しい中、このような機会を作ってくださいました皆さま、ありがとうございます。旧村上の飯野桜ヶ丘に住んでおります相馬エイと申します。率直なご意見をこういった機会ですので出していただきたいと思っております。今日はご苦労様でございます。
- 鈴木いせ子委員 今日は雪で道足の悪い中お集まりいただきまして、大変ありがとうございます。中原の鈴木いせ子です。よろしくお願い致します。私はこの4年間をかけてこの地域医療に取り組んできました。地元の区長さん方の貴重なご意見を拝聴する機会を得ましたので大変喜んでおります。皆さんの声を聞いて、ぜひそれを生かしていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。
- 板垣千代子委員 皆さまおはようございます。朝日地区の中原集落から出ております板垣千代子と申します。このように大変な雪の中、皆さまお集まりいただきましたこと、大変感謝しております。この短い時間ではありますが、皆

さまの貴重なご意見を拝聴させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいいたします。以上でございます。

川村敏晴 委員 おはようございます。旧荒川町荒島出身の川村敏晴と申します。若干遅れまして大変申し訳ございませんでした。今日、皆様のご意見を聞かせていただき、今後の活動に反映させていきたいと、こう思っていますのでよろしくお願いいいたします。

副委員長 続いて、板垣委員長の方から地域医療調査研究特別委員会の中間報告の説明を行います。

委員長 （地域医療調査研究特別委員会中間報告について説明）

副委員長 はい、ありがとうございます。皆さんに事前に配布しております中間報告の中でご意見がありましたらお願いいしたいと思います。どなたかありますか。はいどうぞ。

Q 勉強不足なんですけど、疾病の発生状況の中で「悪性新生物」というのはどういう病気なんでしょうか。ちょっとそれをお聞きしたいのですが。

会場 癌だよ、癌。

Q はい、分かりました。

副委員長 他にございますか。どんなことでも結構ですので、忌たんのないご意見なども頂戴したいと思います。

Q 今ご報告にありました第1候補地ですね、土壌調査の結果そこでは無理だということで、この次に目標にしているところはどこか、どういった話し合いになっているのか、お話を聞かせていただきたいと思えます。

副委員長 村上総合病院のことですね。

Q はい。

委員長 先ほど私からご説明したとおり、厚生連の方から行政側に病院建設したいので、ジャスコ跡地をぜひお願いいしたいという要望書が提出されまして、それに基づいて行政、市長がそこを調査して適地であるならば、厚生連との協議の上、そこに新築したいということで調査をやったわけですが、非常に元工場跡地の有害物質が地下にあって、その土壌を入れ替えるには数十億の金がかかるというような観点から、市長がその土地では不相当だということで断念したというのが現実です。その後、厚生連から土地の場所の選定については、私どももちろんでありますけど、行政側にも出ていません。ただ、村上総合病院の中に村上総合病院運営審議委員会があり、そこには村上市長さん、関川村長さん、粟島浦村長さん、加えて厚生連、病院長、農協の組合長さんを含めて17名の方がいらっしゃるそうですが、もちろん事務長も含めてですが。その中で今こういった審議がなされているかということは、大変申し訳ありませんが私どもではその情報はつかんでおりません。

Q はい、ありがとうございます。

副委員長 他にございませんか。

Q ご苦労さまです。この中間報告読ませていただきました。全部一通り目

を通したわけですが、朝日地区が最後だということですので今までの懇談会の中でも出てきたと思いますが、私の方からも意見を出させていただきます。ＴＰＰの問題ですが、昨日アメリカとの協議も開始になりました。地域医療の問題とも密接に関係があるのですが、ＴＰＰに参加した場合、当然のことながら診療サービスが自由化になります。そうしますと、保険外診療と言って保険のきかない診療がかなり増えてくるといったことから国民皆保険が壊滅するんじゃないかといったことで日本医師会で反対しているんですよ。当然だと思います。大体これを見ますと、この地域に１２０名ということでしたか、医師の数ですが、全国平均に比べると約半分くらいですね。慢性的な医師不足となっているわけです。これがもしＴＰＰに参加した場合、地域医療が崩壊すると言えば良いのか、利益目的の病院が増えてきます。そうすることによって都市部に集中しますので、医師から看護師まで全部集中するのですよ。そうすると、今のこの現状からいって１２０名の医師がもっと減るはずですね。１０年後くらいになると。そういうことまで皆さん考えてやっていますか。その辺お願いします。

委員長

大変高度な質問でございまして、実は私ども５ヶ所目ですが、そういった質問はありませんでした。しかし、つい先日、ＪＡにいがた岩船さん、かみはやしＪＡさん、そして農業委員会の皆さん、私ども友好会派の皆さんと約３時間半くらいにわたりいろいろとＴＰＰ問題、今後のこの地域の農業問題について懇談会を開催させていただいたところです。その中で、非常に大きなＴＰＰの問題は、農業だけでなく、医療の問題に大きく響くということは私どもも良く理解しているのですが、いまやっと、昨日の新聞ですか、７日にアメリカと日本の代表がＴＰＰの全項目について話し合いを行ったと、今日の新潟日報にも載っていますが、そういうことでこのことについては、ＴＰＰがどういった段階で実行されるのかが不明確であるので、私どもとしては先般の（農業関係団体との）懇談会の中では全面的にＴＰＰは反対していくということで、全員一致を見たところでありまして、私どももいろいろな面でＴＰＰに対しては今後もいろいろな情報を得ながら適正な運動展開をして行かなければならないと、極端に言えば反対でございますのでその点もお含みいただければ大変ありがたいと思っています。

副委員長

よろしいでしょうか。

Ｑ

はい。

副委員長

他にございますか。

Ｑ

私の体験からお話しさせていただきますが、昨年８月に木から落ちてまして、痛くてしょうがなく救急車に来てもらい、救急車は大変早く来てくれて良かったなと思って喜んでいたのですが、あまりにも痛いのでどこでもいいから早く、たらい回しにしないで行ってもらいたいと思ったところ、直ぐ村上総合病院にＯＫが取れまして搬送されました。ところが

行ったのは良いのですが、なかなか診察してもらえなかったのです。ちょうどお昼前だったのですが、そのうちにまた他の救急車が来て私よりも遅く来た人がものすごく苦しそうなので、そっちの方を診たりしていて、私にしてみれば痛いのを歯を食いしばって我慢しているものですから大したことないと思ったのですが、右肩脱臼と背骨の損傷ということだったのですが、そういったことで病院に着いてから1時間くらい待たされて、脱臼の方は先生が診てくれたら1秒くらいでカチッとほまって直ぐ終わったのですが、その後も5ヶ月くらい経っているのですが、毎月行っているのですが、整形外科の方はすごく混んでいるんですね。予約時間で行っても、早くても30分位待たされるし、このような状態では先生も大変だと思うし、患者も大変です。ただ、我々としてもそれをどうしてもらいたいと言ってもどうしようもないし、それでも医師不足とは聞いていますが、なんとかそういった面も解決してもらえればと思っています。以上です。

委員長

まったくそのとおりなんですね。私ども特別委員会で新発田病院の3次医療の病院を見学し、そして院長先生からいろいろなお話をお聞きしながら懇談した経緯があります。その中で、新発田病院も非常に混んでいまして、村上総合病院にもその通知が入っているということで私どもも拝見したわけですが、救急患者を送らないでほしいというのが今の新発田病院の現状だそうです。大変混みあってるそうでありまして、特別生命に関わる救急患者の場合はやむを得ないが、本人が行きたいからと言っても村上総合病院で治療できるものはまずそこで治療していただきたいということが文書で徳洲会病院にも、村上総合病院にも、坂町病院にも新発田病院から流れたというのが事実でありまして、私どももそういうことがないように今後この村上市の中で、関川村、粟島浦村も含めて医療の、今言うようなことがないように医師の確保の問題、感染症が発生してもこの新しい病院はいつでも受け入れられるような、新発田病院は3次医療であります。2・5次医療程度の治療ができるそういった病院をつくりたいというのが私どもの一致している考え方でありまして、貴重な提言でありますので私どもも十分検討させていただきたいと思っています。大変ありがとうございました。

副委員長

ありがとうございました。他にございませんか。どんなことでも結構ですのをお願いしたいと思います。

Q

私どもの方は山間地の方ですが、積雪も1メートル50センチくらいあります。それで日中はほとんど若い人は勤めて（地元）に居ません。私が見ている限りでは、高齢の方は路線バスを使って村上総合病院のほうに行きます。これから新しい（村上）総合病院が建設されるということで、そのアクセス道路ですね。やはり、高速道路もあって路線バスも近いような所を候補地としてあげていただきたいというのが私の要望です。あと、（村上）総合病院は朝行くとほとんど午前中いっぱい位かかる

というか、会計終わって帰ってくると（午後の）2時、3時ということだそうです。できるだけ早く診療を済ませてもらって、午前中くらいに自宅に帰ることができるような、スムーズな診療ができるよう、医師不足もあるのだと思いますが、その辺の配慮を強く要望したいと思います。よろしくをお願いします。

委員長 大変貴重なご意見でありますので、村上市の市内の方はタクシーを使っても少ないお金で行くことができますが、私も山北（地区）からタクシーで行くということになると、治療費よりも高くなるわけですので、貴重な意見でございますので私ども持ち帰って取りまとめの中に入れていたいと思っていますのでよろしくお願いいいたします。

副委員長 他にございますか。

Q 今村上病院のベット数が263ですか。特別委員会の中間報告では300から350といったことでまとめられていますが、例えば人口を見るとだんだん減っています。団塊の世代の高齢化が進んできますと、朝日の場合ですと32.1パーセントの高齢化率、65歳以上ですね。これがだんだん高齢化率が進んでいきますと、病院そのものも300であっても採算が取れる状態でないとなかなか大変だと思うんですね。ホームページに村上市の保健福祉計画が掲載されていまして、それを見ますと介護の関係で特別養護老人ホーム29床を3年計画で作るということが出ていました。それと、この（村上）総合病院との関係なのですが、たまたま（保健）福祉計画は1月に発表されていまして。皆さんの資料は12月ですか。ずれはありますが、整合性というかその関係はどんなふうになっているのかお考えをお聞かせください。お願いします。

委員長 まず村上総合病院のベット数263床ですが、これは村上総合病院の考え方としては、300から350のベット数にして、医者インターン生を受け入れてきちっとやっていくには今のベット数では足りないということが院長先生のお話でした。ただこのベット数については、村上総合病院がいくら多くしたいと言っても県の認可がなければベット数を増やすことは不可能なわけです。これは県全体でのベット数が決まっていますので、県に認められればそういうことをやりたいという考えでいるようであります。今ほどの介護のほうのベット数は、先般私どもの全員協議会の中で説明がありました。今年（24年度）から3年計画で介護のベット数を増やしたいということなのです。新潟県全体での希望は2,700ベット数がほしいということで、村上市は100床を希望したそうですが現在58床なのです。これを今年度（24年度）29床、25年度に29床（の特別養護老人ホーム）を作りたいということで説明があって、この24年度の分については今3月定例会に予算が出てくると思いますし、どなたがやるのかについては聞いていませんが、この問題、介護のことも含めて私どもの最後の提言にはまとめなければならないと考えていますのでよろしくお願いいしたいと思います。

副委員長 他にございますか。なければ終わらせていただいてもよろしいでしょうか。せっかくこのために来ていただいていますので、どんなことでも結構です。それぞれの集落の何か困っている点などについてこの地域医療に関係することでありましたら私どもに参考までにお聞かせいただければと思いますが、どなたかございませんでしょうか。

会場 （暫く待つて発言者が無い。）

副委員長 無いようですので、この辺で終了させていただきますが、最後に委員長からごあいさつをお願いします。

委員長 どうもいろいろなご意見、ご提言をいただきましてありがとうございます。私どもの任期も4月の26日まででございますので、今任期中にはすべて取りまとめが終わるといことにはならないのではないかと委員長として判断しているところであります。新しい議会の中でも継続していろいろとこの医療の充実に向けた特別委員会（の活動）を継続させていきたいとも考えていますので、これからも皆さん方からいろいろとご提言していただければと思っております。先ほども区長さんから話がありましたが、（当初）予算が3月にならないとはっきりしませんので分かりませんが、来年度から朝日地区に乗り合いバス（公共交通の試行）が運行されるようになっていきますので、これまではっきりしていません。予算書見ていませんので、そういったことも踏まえて考えていただければ大変ありがたいと思います。今日は大変ありがとうございました。

副委員長 貴重な時間大変ありがとうございました。

